

第 18 回旭川流域連絡協議会（幹事会）議事録

日 時：平成 17 年 10 月 31 日（月）14:00～16:00

場 所：美咲町林業センター 研修室

参加者：岡山市、瀬戸町、赤磐市、吉備中央町、建部町、久米南町、美咲町（本庁、旭総合支所）、真庭市（本庁、北房支局、落合支局、湯原支局）、新庄村、岡山備前県民局（本庁、東備支局）、岡山県美作県民局（真庭支局）、岡山県土木部河川課、国土交通省岡山河川事務所

1. 開会挨拶 岡山河川事務所 宮崎副所長

本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

まず始めに、平成 17 年 6 月 19 日に岡山市内で行なわれた、防災・減災フォーラムにおいて、県・市町村・住民の方からアンケート等、意見をいただき非常に良い成果を得ることができました。旭川流域連絡協議会の皆様におかれましても、ご出席いただいたとともにその際に様々な意見をいただき、ありがとうございました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

平成 16 年度におきましては、災害が全国・市町村・または、世界規模で起き、行政としても様々な経験をされたことと思います。

今回の防災の報告を通じて、今後どのようなことに取り組んでいくべきか、幹事会のみなさまから多くの意見を頂き、前向きに取り組んでいきたいと思っております。本日は活発なご議論をいただきますようお願いいたします。

2. 議事

討議事項

配布資料の議事次第に基づき、以下の討議事項について打合せを行なった。

1) 平成 17 年度活動中間報告

- ・本年 6 月 19 日（日）に行なわれた「防災・減災フォーラム 2005 in 岡山」概要について事務局から説明。ビデオ上映の概要・自主防災組織の活動状況の概要・パネルディスカッションの概要・アンケートの概要について説明。
- ・地域防災モデル地域の取り組み中間報告について事務局から説明。自主防災の育成に対する行政のサポートの必要性について説明。防災マップづくりの報告書を成果として取りまとめていく方針であることを説明。モデル地域の防災マップ取り組みの現状（マップの配布・印刷等）について説明。
- ・平成 17 年度中間決算（案）報告を事務局から説明。平成 17 年度の収入・収支について詳細を説明し、了承。昨年度から繰り越した「こどもの体験交流合宿支援 50,000 円」と夏休み期間に未実施である「こどもの体験交流合宿支援 50,000 円」の合計 10 万円を地域防災体制構築の報告書に充てる方針であることを報告し、了承。

2) 平成 18 年度計画

- ・年間計画(案)及び、地域防災に関する取り組みについて事務局から説明。平成 18 年度は、3 モデル地域の育成・強化の継続に加え、流連 10 市町村のうち残りの 7 自治体において、新たに新規モデル地域を選定し流域全体へ拡大していく方針を説明。また、既にモデルのある 3 自治体についても新モデルを選定し取り組みを希望する場合は、可能であることを説明。どちらも各自治体において関係部署との連絡調整を依頼した。
- ・平成 18 年度予算(案)及び、負担金について事務局から説明。収入と支出について概要を説明。また、支出については必要に応じて今後提案していく旨を説明。負担金については、第 16、17 回協議会での提示(市:町:村 = 3 : 1 : 1、但し、岡山市は 6 の割合)を再度説明し、おおむね了承を得ていることを報告。ただし、吉井川流域連絡協議会などの関係から、流域が重複する場合には再編成などの再検討を行う方針であることを説明し、平成 18 年度以降の負担金割合について了承。

3) 旭川に関連する協議会、連絡会と流連との関わりについて

- ・旭川に関する協議会・連絡会と旭川流域連絡協議会との関わりについて事務局から説明。「流域が一体」となって、平常時および非常時においても各種の情報交換・情報共有が行なえる場として、旭川流域連絡協議会において、各協議会・連絡会の情報提供を行なっていく方針であることを説明。

報告事項

配布資料の議事次第に基づき、以下の報告事項について打合せを行なった。

1) 意見交換

- ・平成 17 年度の湯水概要について事務局から説明。岡山三川別の湯水対策の概要・旭川ダム貯水量の時系列変化・情報提供について紹介。第 18 回協議会において、湯水状況等について意見交換・情報提供の場を設ける方針を説明。
- ・旭川流域一斉水質調査 2005 の結果報告を事務局から説明。
- ・コイヘルペス発生状況について事務局から説明。
- ・平成 17 年度台風 14 号の影響について、第 18 回協議会において、台風等の被害状況等についても意見交換・情報提供の場を設ける方針を説明。
- ・事務局から、旭川流域交流シンポジウムについての情報を提供。平成 17 年 11 月 19 日に開催予定である、シンポジウムへの積極的な参加を依頼。

2) 情報提供

- ・平成 17 年 9 月に各首長の方に説明した「水防体制の充実・強化に向けて」の資料について再度、事務局から概要説明。
- ・「魚ののぼりやすい川づくり」について、事務局より概要を説明。以降の配布資料「旭川で行なわれた国体競技」、「関連新聞記事」、「規約・会員名簿」、「第 17 回幹事会、協議会議事録」については時間の関係から、資料紹介のみとする。

3. 閉会挨拶 岡山県河川課 横田副参事

- ・本日は長時間に渡り、協議いただきましてありがとうございました。本協議会は平成 11 年に設立されて、川を生かした地域づくりとして、関係機関に対して大変効果を発揮してきております。昨年度の台風などを踏まえ、川に関わる安全安心対策として、住民の方も意識が高まっております。そうした中、防災に関する会議が開催されることは非常に意義があることと思っております。協議会のみなさんの緊密な連携を保ちながら、流域の方、流域団体と協力しながら、今後も取り組んでいただきたいと思っております。簡単ではありますが、閉会の挨拶と致します。

(以上)